

神田直弥(かんだ なおや)

東北公益文科大学学長。'02早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(人間科学)。'05に東北公益文科大学に着任。'20より現職。

杉林堅次(すぎばやし けんじ)

城西国際大学学長・薬学部教授。富山大学大学院薬学研究科修了。日本薬剤学会会長、日本香粧品学会副理事長などを歴任。

松枝一靖(まつえだ いっせい)

NHK報道局ネットワーク報道部副部长。早稲田大学商学部卒。'99NHK入局。記者時代はアナログだったが、'17、現部署の立ち上げをきっかけにデジタルの道に。

紀國洋(きのくに ひろし)

立命館大学キャリアセンター部長、経済学部教授。北海道大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。'18よりキャリアセンター部長。専門は産業組織論。

森田光則(もりた みつのり)

東京女子大学教育研究支援部キャリア・センター課長。学生部や教務部で学生対応に長く携わる。'19から現職。キャリアコンサルタント(国家資格)。

戸山孝(とやまたかし)

東洋学園大学キャリアセンター課長。経営学修士。外資系コンサルティング企業勤務や大学教員などを経て'16から現職。

音好宏(おと よしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

高野明彦(たかの あきひこ)

国立情報学研究所教授(連想情報学)。'80東京大学理学部数学科卒業。博士(理学)。日立製作所基礎研究所等を経て'01より現職。'02より東京大学大学院教授を併任。

加藤諭(かとう さとし)

東北大学学術資源研究公開センター史料館准教授。東北大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。東京大学文書館を経て'17より現職。

星野靖一(ほしの せいじ)

國學院大学研究開発推進機構日本文化研究所教授。'03東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。'21より現職。

竹内裕希子(たけうち ゆきこ)

熊本大学大学院先端科学研究部准教授。博士(理学)。くまもと水循環・減災研究教育センターデジタルアーカイブ室室長。京都大学等を経て'13より現職。

菊池信彦(きくち のぶひこ)

関西大学東西学術研究所特別任用准教授。'08京都大学大学院博士後期課程研究指導認定退学。博士(文学)。'20より現職。専門は西洋史学、人文情報学。

神澤正典(かみざわ まさのり)

学校法人阪南大学理事長。九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(経済学)。阪南大学流通学部教授を経て'20より現職。

粕谷美砂子(かすや みさこ)

昭和女子大学人間社会学部・同大学大学院生活機構研究科福祉社会研究専攻教授。'20より現職。'21より同専攻主任。'02同研究科生活機構学専攻博士課程修了。博士(学術)。

渡辺顕修(わたなべ けんしゅう)

甲南大学法科大学院教授、弁護士。三省堂模範六法編集委員等。京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。博

士(法学)。主著に『現代の刑事裁判』。

高橋 昭夫(たかはし あきお)

明治大学商学部・大学院商学研究科教授。'90明治大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。'01より現職。主著『現代商品知覚論』。

菅原 春美(すがはら はるみ)

立教大学総長室社会連携教育課セカンドステージ大学事務室課長補佐。'95上智大学文学部新聞学科卒業。出版社勤務等を経て'03立教大学入職。'166月より現職。

今野 裕子(こんの ゆうこ)

亜細亜大学国際関係学部講師。'12南カリフォルニア大学大学院歴史学科博士課程修了(P.H.D.)。上智大学を経て、'18より現職。専門は日系アメリカ人史。

藤田 義孝(ふじた よしたか)

大谷大学国際学部長、国際学部教授。博士(文学)。'00大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得後退学(フランス文学専攻)。'12大谷大学着任。

北原 仁(きたはら ひとし)

学校法人成蹊学園財務部長。成蹊大学法

学部卒業。'13総務部総務課長。'196月より現職。

天津 佳之(あまつ よしゆき)

大正大学文学部日本語・日本文学科卒業。書店員、編集プロダクションライターを経て、業界新聞記者。'20『利生の人尊氏と正成』で日経小説大賞を受賞し、デビュー。

脇浜 紀子(わきはま のりこ)

京都産業大学現代社会学部教授。神戸大学法学部卒。'90読売テレビ入社。'10大阪大学大学院国際公共政策博士号取得。研究分野は地域メディアと地域情報。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

座談会「ポストコロナ時代の
大学のあり方」新たな大学教育の
展開と課題」の配信

日本私立大学連盟では、ポストコロナ時代の新たな大学教育の方向性や実現に向けた課題を共有すべく、座談会「ポストコロナ時代の大学のあり方」新たな大学教育の展開と課題」をオンデマンド配信により公開しました。座談会では、単位の実質化をはじめとする大学設置基準の見直しや質保証のあり方等、大学での新たな学びの実現に向け、大学のトップリーダーが未来志向で議論しました。

▼座談会は私大連公式YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

私大連公式YouTubeチャンネル



会長の動き

- 9月8日(水) 提言『ポストコロナ時代の大学のあり方』デジタルを活用した新しい学びの実現』に関する座談会動画撮影に出席
- 9月14日(火) 第5回常務理事会、第5回理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 9月21日(火) 経団連の産学協議会就職・インターンシップ分科会打合せに出席
- 9月27日(月) 経団連の産学協議会就職・インターンシップ分科会に出席
- 10月5日(火) 第6回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 10月6日(水) 主要国会議員に私立大学のガバナンス改革について説明
- 10月7日(木) 暁道副会長とともに法務省・外務省に私費留学生等の入国緩和を要望
- 10月10日(日) 学校法人津田塾大学120周年記念式典に出席
- 10月14日(木) 鈴木財務大臣を表敬訪問

- 10月18日(月) 文部科学省義本事務次官に「私立大学のガバナンス改革に関する意見と提案」を説明
- 10月19日(火) 第7回常務理事会、第6回理事会に出席(ハイブリッド開催)

開催報告

- 8月25日(水)・26日(木) 令和3年度監事会議(オンライン開催)
- 8月31日(火) 令和3年度教学担当理事者会議(オンライン開催)
- 9月6日(月) 令和3年度理事長会議(オンライン開催)
- 9月13日(月) 令和3年度学生支援研究会議(オンライン開催)
- 9月15日(水) 令和3年度国際連携委員会 国際教育交流担当者情報交換会(オンライン開催)
- 9月17日(金)～10月31日(日) 令和3年度国の補助金等に関する説明会(第1回)(オンデマンド配信)

● 9月30日(木)～10月31日(日)

令和3年度経営委員会 私立大学から
見る学校法人ガバナンス改革会議 「ガバ
ナンス改革をめぐる議論のポイント」
(オンデマンド配信)

駐日チリ共和国大使が
私大連を訪問

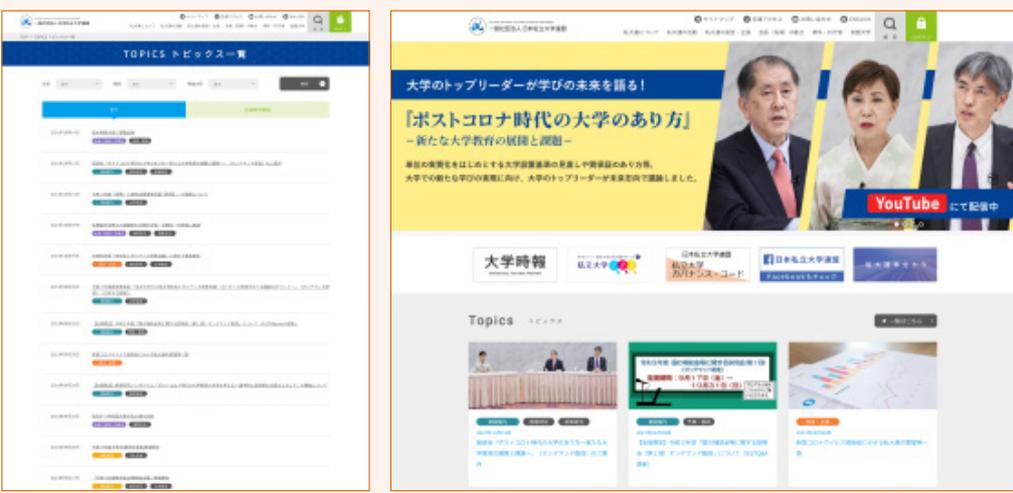
9月28日、リカルド・ロハス駐日チリ共
和国大使が私大連を訪問し、曄道佳明
副会長(上智大学長)及び岩切正二郎常
務理事(国際基督教大学長)と懇談し
ました。

懇談では、日本の私立大学及びチリの
大学の状況、新型コロナウイルス禍によ
る国際交流への影響と今後の展望等
について、活発な意見交換を行いました。

▼各資料や開催の概要は、下記の私大連Web
サイトをご覧ください。

私大連Webサイトにて
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



The image shows two screenshots of the private university topics website. The left screenshot displays a list of articles under the heading 'TOPICS トピックス一覧'. The right screenshot shows a featured article titled '大学のトップリーダーが学びの未来を語る！「ポストコロナ時代の大学のあり方」～新たな大学教育の展開と課題～' with a video player and a QR code.

私立大学と社会をつなげる
大学情報検索サイト

知りたい!! 個性が光る取り組みサーチ

私立大学 1・2・3



Webサイトはこちらから ▶▶▶ <https://topics.shidairen.or.jp>

「私立大学1・2・3」は私大連加盟大学が発信した
多様で魅力・特色ある活動・取り組みを、
大学名はもちろん、地域や取り組み内容、実施体制、
連携状況、キーワードなどから検索できます。



The image shows a screenshot of the private university search site interface, which features a map of Japan and various filters for searching universities.

座談会 「大学におけるカーボンニュートラル実現へ向けて」

特集 「新型コロナワクチン大学拠点接種の取り組み」

小特集 「大学発ベンチャーへの支援と今後の可能性」

だいがくのたから

城西大学

大学点描

明治大学

クローズアップ・インタビュー

山上裕一郎さん(株式会社山上木工 専務取締役)

編集後記

◆今回の特集「大学アーカイブズの現在(いま)と可能性」を機に、昨年開始となった国立公文書館の「認証アーキビスト」制度のことを初めて知った。認証アーキビストを養成する課程を有する大学はすでに複数あり、調べてみると「アーカイブズ学」の名を冠した専攻もあった。

国立公文書館のホームページ「認証アーキビスト申請の手引き」によれば、アーキビストは「高い倫理観とともに、評価選別や保存、さらには時の経過を考慮した記録の利用に関する専門的知識や技能、様々な課題を解決していくための高い調査研究能力、豊富な実務経験が求められる」とのことである。公開されている資格者の名簿をみると、自治体の公文書館に所属される方が多いようだが、大学職員と思われる方も複数おり、今後、大学アーカイブの充実や、それに伴う広報戦略、地域連携等をも担う人材になると考えられる。専門性を持ちつつ、横断的に大学に貢献する人材の育成を後押しする資格となることが期待される。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・上智大学総務局SGU事業推進室長 中山映)

◆「人生100年時代」と言われるようになって久しく、転職やキャリアチェンジが珍しくない社会となってきた。さらに、AIや新型コロナウイルス感染症により、これまでの知識や常識があつたという間に過去のものとなり、充実した人生を送るために「リスキリング」が欠かせない時代が到来したと言える。

本小特集では「リカレント教育」をテーマに4大学から寄稿していただいたが、いずれのプログラムも生涯学び続けることの重要性は一貫しており、異世代間交流やオンライン活用など、多様な学びも紹介されている。近年開講されたコースは、より実践的で、より専門的なスキルの獲得が可能となっているようだ。社会の要請から生まれた「リカレント教育」が発展し、大学で学ぶ人々や学びの多様化が進んでいけば、大学も社会も少しずつ変わり、その循環が社会変革につながるのではないだろうか。大学での学びと社会活動を、いつでも、誰でも、どんな環境でも往復できるような社会が、今から待ち遠しい。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・立教学院広報室長 長野香)

◆大学にかかわる仕事をしていると、時に不易流行という言葉が思い浮かぶことがある。これまでも、大学は様々な形で時代の変化に向き合ってきたが、コロナ禍という歴史的転換点にあるいま、大学における不易について考える機会が増えたように感じる。

今号のクローズアップ・インタビューでは、南北朝時代を題材とした『利生の人』の著者、天津佳之氏をお迎えした。通勤時間を使ってスマートフォンで作品を執筆するという天津氏のスタイルに驚きながら、1年半前にはオンライン授業・就活も当然ではなかったことを改めて思う。携帯電話が登場したのは1980年代。その後デジタル化が進み、2000年代にインターネットと融合してスマートフォンが誕生した。座談会で共有された通り、学生たちがリコメンドされる環境の中で成長してきたことを感じる時の流れである。状況に対応する以上の変化が大学に求められる時代となることも予想されるいま、改めて大学における不易とは何なのか、立ち止まって考えることが必要な時なのかもしれない。(日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美)

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (125大学 令和3年11月20日現在)

愛知大学	金沢星稜大学	南山大学	大正大学
亜細亜大学	関西大学	日本大学	拓殖大学
青山学院大学	関西学院大学	日本女子大学	天理大学
跡見学園女子大学	関東学園大学	ノートルダム清心女子大学	東邦大学
梅花女子大学	関東学院大学	大阪学院大学	東北学院大学
文教大学	慶應義塾大学	大阪医科薬科大学	東北公益文科大学
筑紫女学園大学	恵泉女学園大学	大阪女学院大学	東海大学
中央大学	敬和学園大学	大谷大学	常磐大学
中央大学	神戸女学院大学	追手門学院大学	東京医療保健大学
大東文化大学	神戸海星女子学院大学	立教大学	東京女子大学
獨協大学	皇學館大学	立正大学	東京女子医科大学
獨協医科大学	國學院大学	立命館大学	東京経済大学
姫路獨協大学	国際武道大学	立命館アジア太平洋大学	東京国際大学
同志社大学	国際基督教大学	龍谷大学	東京農業大学
同志社女子大学	駒澤大学	流通科学大学	東京情報大学
フェリス学院大学	甲南大学	流通経済大学	東京歯科大学
福岡大学	久留米大学	西武文理大学	東洋大学
福岡女学院大学	共立女子大学	聖学院大学	東洋英和女学院大学
福岡女学院看護大学	京都産業大学	成城大学	東洋学園大学
学習院大学	京都精華大学	聖カタリナ大学	豊田工業大学
学習院女子大学	京都橘大学	成蹊大学	津田塾大学
白鷺大学	九州産業大学	西南学院大学	和光大学
阪南大学	松山大学	聖路加国際大学	早稲田大学
広島女学院大学	松山東雲女子大学	清泉女子大学	山梨英和大学
広島修道大学	明治大学	聖心女子大学	四日市大学
法政大学	明治学院大学	専修大学	四日市看護医療大学
兵庫医科大学	宮城学院女子大学	石巻専修大学	
兵庫医療大学	桃山学院大学	芝浦工業大学	
実践女子大学	桃山学院教育大学	白百合女子大学	
上智大学	武蔵大学	仙台白百合女子大学	
城西大学	武蔵野大学	昭和女子大学	
城西国際大学	武蔵野美術大学	創価大学	
順天堂大学	名古屋学院大学	園田学園女子大学	

大学時報

University Current Review

2021/11月号

第70巻401号(通巻414号)

令和3年11月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9

KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
小島隆久(同志社女子大学広報部広報室長)
藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
横川修(関西学院広報室課長)
田上雅徳(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
長野香(立教学院広報室長)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
水田悠平(日本私立大学連盟事務局)
太田祐輔(日本私立大学連盟事務局)

